

第 9 1 回
沖縄地方交通審議会
船員部会 議事録

平成 2 8 年 5 月 1 7 日（火）

沖 縄 総 合 事 務 局

第 9 1 回 沖 縄 地 方 交 通 審 議 会 船 員 部 会

日 時 平 成 2 8 年 5 月 1 7 日 (火) 1 4 時 0 0 分
場 所 沖 縄 総 合 事 務 局 5 F 「 聴 聞 室 兼 会 議 室 」

出 席 者 :

公 益 委 員	宮 里 委 員、儀 部 委 員、春 田 委 員
労 働 者 委 員	姫 路 委 員、大 崎 委 員、屋 比 久 委 員
使 用 者 委 員	宮 城 委 員、大 城 委 員

沖 縄 総 合 事 務 局 野 原 船 舶 船 員 課 長、宮 城 課 長 補 佐、
普 天 間 専 門 官

議 事 次 第

○ 開 会

○ 議 事

1. 第 9 0 回 船 員 部 会 の 議 事 録 承 認 に つ い て
2. 管 内 の 雇 用 状 況 等 に つ い て
3. 意 見 交 換

○ 閉 会

(配 付 資 料)

1. 第 9 0 回 船 員 部 会 の 議 事 録 (案)
2. 船 員 職 業 紹 介 実 績 等 一 覧 表 (平 成 2 8 年 4 月 分)
3. 平 成 2 7 年 度 卒 業 者 進 路 状 況 一 覧 表

宮里部会長

定刻より１分程早いのですが、皆様お揃いですので第９１回船員部会を始めさせていただきます。

本日の委員の出席状況と配付資料の確認を事務局よりお願いします。

事務局（普天間専門官）

本日は、公益委員３名、労働者委員３名、使用者委員２名が出席されており、船員部会運営規則第９条の規定による定足数を満たし、有効に成立していることをご報告いたします。

それでは配付資料の確認をさせていただきます。

～配付資料確認～ 以上です。

宮里部会長

それでは、初めに第９０回船員部会の議事録の承認について、お諮りします。お手元に配付されています議事録を御確認ください。

事前にお目通しいただいていると思いますが、それでは原案のとおり承認してよろしいでしょうか。

各委員

（「異議なし」）

宮里部会長

では、異議なしということで、承認されたものといたします。

続きまして、議題２の管内の雇用状況等につきまして、事務局にご説明をお願いします。質問は最後に受け付けたいと思います。よろしくをお願いします。

事務局（宮城補佐）

平成２８年４月分の管内雇用状況等の概要について報告いたします。

●求人状況について

新規求人数は１４件でした。前月に比べ４件増加、また、前年同月に比べ５件増加となっております。

月間有効求人数は２６件でした。前月に比べ３件減少、また、前年同月に比べ１件増加となっております。

月間有効求人数２６件の内訳としましては、商船等２５件、漁船１件となっております。月末未済求人数は１７件でした。

●求職状況について

新規求職数は７名でした。前月に比べ３名減少、また、前年同月に比べ２名増加となっております。

新規求職数７件の内訳としましては、すべて商船となっております。

月間有効求職数は２３名でした。前月に比べ５名減少、また、前年同月に比べ２名増加となっております。

月間有効求職数２３名の内訳としましては、商船等１９名、漁船４名となっております。

月末未済求職数は１６名でした。

●成立状況について

４月は管内・管外に１名ずつ採用が決まりました。

管内は沿海の曳船に甲板員として５０代男性１名、管外については、沿海の貨物船に機関士として６０代男性１名が採用されました。

●求人倍率について

３月の月間有効求人倍率は、１．１３倍でした。

前月に比べ０．０９ポイント増加、また、前年同月に比べ０．０６ポイント減少となっております。

●新規求職者の退職理由又は求職理由別内訳について

４月の新規求職者７名のうち離職者６名の退職理由としましては、船舶所有者都合等が３名で、自己都合が３名となっております。離職以外の方１名の求職理由としましては、就業中に転職を希望する者となっております。

新規求職者が所属していた会社所在地につきましては、管内が５名、管外が２名となっております。

●失業等給付支給内訳について

基本手当受給者実人員は２名、支給延べ件数は２件で、基本手当支給金額は３１９，４５２円、その他、再就職手当の支給が１件あり、再就職手当給付金額は７９４，１１９円でした。

以上で管内雇用等状況の概要の説明を終わります。

宮里部会長

はい、ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、何か質問等ございますか。

大崎委員（労）

先程の説明の中で、３ページの下の方の成立数の内訳表の説明のうち、管内・管外と分けてなかったのでしょうか。

事務局（宮城補佐）

分けているかと思います。

大崎委員（労）

表の中では分かれてないようですので、表に沿った形で説明していただいた方が分かりやすいと思います。

事務局（宮城補佐）

はい。記載方法について検討します。

大崎委員（労）

50代で曳船に入られたのは、甲板部の部員の方でよろしかったですか。

事務局（宮城補佐）

そうです。

大崎委員（労）

50代の部員ですね。

事務局（宮城補佐）

50代の部員です。

大崎委員（労）

免状はもっていますか。この方は管内ですか。

事務局（宮城補佐）

免状は持っており、管内の甲板員としての採用です。

大崎委員（労）

管内の甲板部で曳船ですね。免状があるのに50代で部員で今雇い入れをされるということは、何かあるのですか。

事務局（宮城補佐）

この方は大型の免状をお持ちでなくて、小型1級の免状しかないということで今回甲板員として成立しております。

大崎委員（労）

海上経験はあるけどもという形ですね。

事務局（宮城補佐）

そうです。小型1級の免状しか持ってないようです。

大崎委員（労）

管内・管外と細かく言っていただくのはありがたいのですが、別段それに対してという話ではないのですが、ここの表の中で見やすい形でご説明いただければありがたいと思います。

事務局（宮城補佐）

はい。

大崎委員（労）

それともう一点の再就職手当についてですが、これは今度法改

正がありますか。再就職手当については、やはり就職を早めに決めていただくという趣旨なので、再就職手当の法改正があれば、教えて頂きたいと思います。

事務局（宮城補佐）

再就職手当ですか。

大崎委員（労）

手当の法改正があれば、今度資料があれば、なければよろしいです。

事務局（宮城補佐）

少し確認をさせて下さい。改正があったかということですね。

大崎委員（労）

はい。私も新聞で少し見ただけなので、詳しくは私も調べてないので、できれば資料があれば、こちらの方が額も相当な額で、濃い内容だと思うので教えて頂けるとありがたいです。できれば早く就職、働いてもらって、このような手当もあるということを知って頂ければいいと思います。それともう一点なのですが、月末未済の求職者数が16人出てますね。16人出てて、基本手当が発生しているのがこちらで2人ということになるのですね。

事務局（宮城補佐）

はい。

大崎委員（労）

ということは、14名の方は未済に入っているのですか。

事務局（宮城補佐）

1人は再就職手当をいただいて、未済にはもう入ってないです。

大崎委員（労）

入ってないですね。ということは14名の方が支給金額というか何もお金が発生していないという状況ですか。それで就職活動をしているという。

事務局（宮城補佐）

そうです。3ヶ月の待機期間中の方もおります。

大崎委員（労）

3ヶ月待機中と、基本手当の受給が切れた人という形ですね。

事務局（宮城補佐）

そうです。

大崎委員（労）

ということは、１４名の方の生活というのは相当ハードだと思うので、できれば早期に就職を、せっかく海上に目が向いている中で、できるだけ早く海の仕事に就職して頂きたいなと思います。

事務局（宮城補佐）

はい。

大崎委員（労）

成立に向けて頑張ってもらえるようよろしくお願いします。以上です。

宮里部長

どうもありがとうございました。ほかにございますでしょうか。

ないようでしたら、議事３の意見交換に移りたいと思います。何かございますでしょうか。

ないようであれば、事務局より前回の質問に対する回答がありますので、よろしくお願いします。

事務局（宮城補佐）

まず、事務部の部員さんで、貨物船の入社を希望されている方は求人もあるので、もう一押しすれば採用になったのではないかという質問ですが、求人活動という中で、近海貨物船の船主さんから、地元の部員さんで司厨員として採用したいという話がありました。求職者については、陸上のレストランのシェフさんが、今回海上に移ってみたいということで、来局していらしたので、その方を案内しようということで、求人票を出していただいたのですが、残念ながら４月に入りこの方が陸上の方で就職が決まり成立しなかったという内容になっております。

それと二点目に、その他の漁船につきましては、やはり期間雇用ということで、今回半年の期間雇用での求人となっております。

それと宮古総業実業高校の学科の入学人数ですが、一番最後の１枚紙の資料を配付しましたが、宮古総合実業高校は、２年時に各類型を選択されるということですが大崎委員の指摘どおり数字を追加記入しました。宮古総業実業の海洋技術類型に７名、海洋機関類型に８名、沿岸技術類型に７名の合計２２名ということになっているようです。

もう一点、上江洲委員の方からでしたが、沖縄水産高校コーストマリンコースについて、ご質問がありましたが、まずどのようなことを学ぶかの内容について、沿岸海域の漁業からマリンレジャー等の海洋関係まで幅広く学ぶようで、沿岸漁業が主の３年時の乗船実習のないコースになっているようです。小型１級、潜水士、ダイビングライセンス、ボイラー技士等の資格を取得できるような内容のようです。

海洋就職者５名はどこに就職したのかということがありましたが、甲板員として独立行政法人水産大学校練習船（山口県）の方に２名、山田水産株式会社（長崎県）の方へ３名。

さらになぜ海上就職者が多いのかということで、船長コース、機関長コースから沖縄水産高校専攻科へ進学すると、２年課程となります

が、コーストマリンコースから専攻科へ進学すると、普通校からの進学と同様に2年半となる。そのため就職を選択する者が多くなっていると思われるとのことでした。

マリンレジャー系の会社へ就職する者はいないのかということですが、もともと漁業を目指して入学する者が多く、またインターンシップで漁船に乗船するため、漁船を希望する者が多くなっている。ただ年によってばらつきがあり、去年はコーストマリンコースから商船系に就職した者もいたが、基本的には漁船が多いということです。

宮里部会長

ありがとうございます。ただ今の説明に何か質問があれば、よろしくお願いします。

宮里部会長

コーストマリンコースからも、大型船の1級の免許は取得できますか。

事務局（宮城補佐）

大型の免状でなく、小型1級になります。

宮里部会長

ではそこから大型の免状を取る場合は水産大学とかへの進学になりますか。

事務局（宮城補佐）

そうです。進学して履歴を積んで試験を受ける感じです。

宮里部会長

それでは、コーストマリンコースは漁船コースが多いのですか。

事務局（宮城補佐）

漁船を希望される方が多いようです。就職先としては、科名からすると意外な感じがするのですが。

宮里部会長

マリンスポーツに行くのかと思ったら違うのですか。

事務局（宮城補佐）

高卒ですぐに就職したいということで、漁船の甲板員から入っていく形が多いようです。

宮里部会長

わかりました。どうもありがとうございます。

ほかに何かございますでしょうか。ないようであれば事務局から連絡がありますのでよろしくお願いします。

事務局（普天間専門官）

6月の船員部会は、6月16日（木）に5階の海技試験室で14時より開催いたします。場所が変わりますのでお気を付け下さい。出席できない場合は、事前に事務局までご連絡ください。

また、今回の議事録案は後日、いつもどおりメールで照会させていただきますのでよろしくお願いいたします。

宮里部会長

それでは、本日の部会はこれで終了します。ありがとうございました。